

## 1 概要

晴海地区の人口増加に伴う児童数の増加に対応するため、晴海四丁目の学校用地に晴海西小学校第二校舎を建設します。

第二校舎の対象学年は、小学校の第1学年から第3学年までとします。

なお、晴海西小学校本校舎の対象学年は、第4学年から第6学年までとします。

### 施設の概要

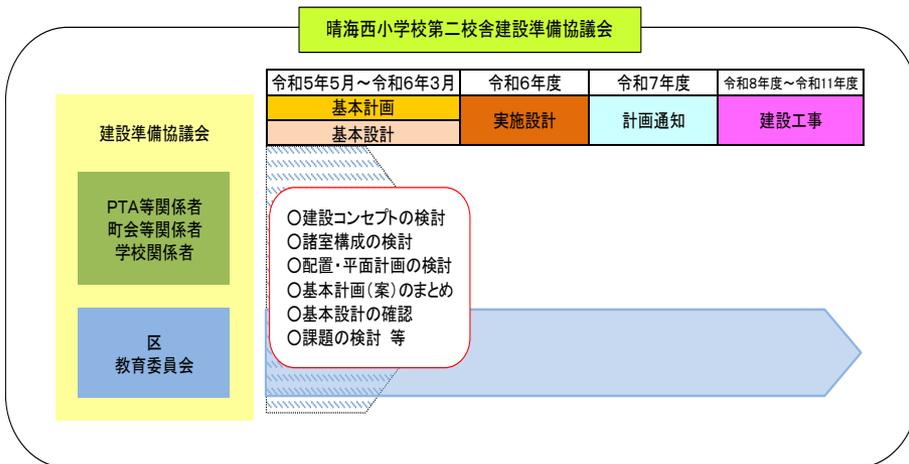
敷地面積 7,900㎡

(都市計画道路部分：約1,600㎡含む)

規模 普通教室27学級(延床面積12,000㎡程度)

## 2 建設準備協議会について

建設計画を円滑に進めるため、建設準備協議会を設置します。



## (建設準備協議会でまとめる内容)

- |                                |        |             |
|--------------------------------|--------|-------------|
| 1 建設コンセプト                      | 令和5年8月 | 第1回協議会で検討   |
| 2 諸室構成、配置・平面計画                 | 10月    | 第2回協議会で検討   |
| 3 基本計画(案)<br>(建設コンセプト・配置・平面計画) | 11月    | 第3回協議会でまとめる |
| 4 基本設計                         | 2月     | 第4回協議会で確認   |

### ○建設コンセプトとは、

基本設計に反映させる建設の基本的な方向を示す方針です。こんな学校にしたい、こんな機能を盛り込みたいという協議会での意見をもとに、いくつかの柱を立ててまとめていきます。

### ○基本計画とは、

建設コンセプトに基づき、建ぺい率や高さ制限等の建築条件等を踏まえて、ブロックプラン(配置・平面図)等の基本的な構想をまとめた計画です。基本設計の前提となります。

### ○基本設計とは、

基本計画の内容に基づく、平面、立面、断面図等からなる実施設計を行うための第一段階の設計です。

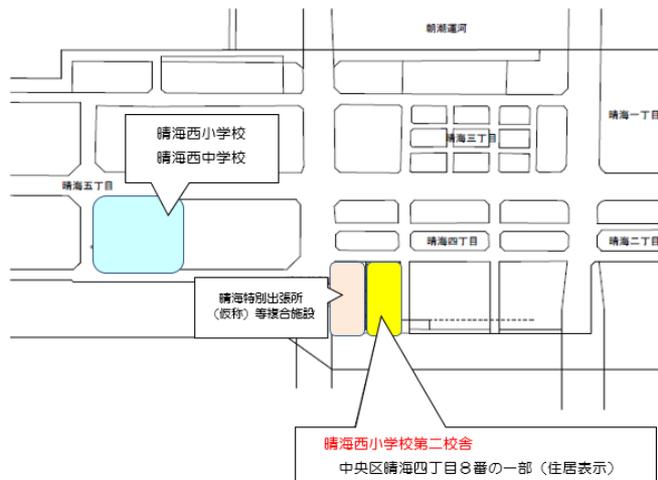
### ○実施設計とは、

実際の工事を施工できる意匠図や構造図、設計図等をつくる詳細設計です。これを基に工事費用の見積もりを行います。

## 3 建設スケジュール案

年度	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
晴海西小学校 第二校舎	基本設計	実施設計	計画通知等	契約 手続き 等	工事・開設準備			●新校舎開設
	都市計画変更							
	建設準備 協議会							
晴海西小学校 晴海西中学校	工事・開設準備	●新校舎開設						

## 4 案内図



## 5 建設コンセプト案

## コンセプト

「子どもたちが健やかに成長できる低学年の学び舎」

## サブタイトル

— 子どもたちがのびのびと笑顔で過ごせる、  
地域とともに成長する学校 —

晴海西小学校第二校舎は、本区初の低学年専用として、本校の教育理念を踏まえながら、隣地のこども園や区立図書館併設などの立地特性や周辺環境を活かした教育活動を展開していきます。

また、放課後対策についても低学年児童に特化した児童指導を行うなど、子どもたちが健やかに成長できる低学年の学び舎を実現します。

さらに、子ども同士の交流や様々な体験をすることは、情緒を育み社会性を身に付ける土台となることから、基本コンセプトの特徴を具現化するものとして、以下の3つのテーマに基づき学校施設を整備していきます。

- ① 低学年に合わせた施設づくりとともに、本校舎との連携を推進する良好な教育環境を実現します。
- ② 地域活動の一翼を担い、子どもたちの交流が深められ、安心できる居場所づくりを目指します。
- ③ 本校舎同様にまちの成長や社会の変化に対応し、地域とともに成長していく施設として整備します。



6 他校の建設・改築コンセプト

【晴海西小学校・晴海西中学校の建設コンセプト】

コンセプト

「輝く未来を地域と築く、新しいまちの学び舎」

サブタイトル

－子供たちがのびのびと笑顔で過ごせる、地域とともに成長する学校－

- ①未来に向けて、子どもたちが、「知・徳・体」を兼ね備え、地域を担い、世界に羽ばたく人材を育む場として、小中一体整備の利点を生かし、ゆったりとした空間を確保するとともに、緑豊かな環境を実現します。
  - ②地域活動の拠点となるよう、積極的に体育館やプール等の地域開放を行うとともに、災害時には、防災の拠点としても機能するよう設備の充実を図ります。
  - ③東京2020大会の選手村レガシーを活用しつつ、将来にわたってこの地域の拠点であり続けるよう、まちの成長や社会の変化に対応する可変性を持たせ、地域とともに成長していける施設づくりを心がけます。
- ①「学びの場としての学校、②「まちの拠点としての学校」、③「地域とともに成長する学校」という三つの視点から新しいまちの象徴となる学校づくりを推進します。



【豊海小学校の改築コンセプト】

自然環境と融合・調和する学びの広場

～ 空・海・緑 輝く自然の中で、

まちを結ぶ子どもたちの学びの舎 ～



豊海小学校の地域は、大都市東京のウォーターフロントとして、近年、目覚ましい発展を遂げています。いわば、未来都市を先取りしたまちです。その中心に位置する学校・幼稚園では、21世紀の地域や日本を担う子どもたちへの力強い教育活動が展開されています。輝く空、広がる海、伸びゆく緑に囲まれた豊かな自然環境の中で「走り、跳び、泳ぎ、学び、歌う」ことですすくと育つ子どもたちが集うとともに、保護者や地域の人々のふれあいと交流が生れて、多様な世代の方に親しまれ愛される、学校づくりを推進します。



南西側外観



校庭側外観